

八王子の為でなく八王子市民のために！！

決断と実行

八王子市議会議員

いとうただゆき

伊藤忠之



ごあいさつ

皆様には今年も益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、常日頃から私の政治活動にご理解をいただきましてありがとうございます。

さて、2月22日から3月28日まで令和4年八王子市議会第1回定例会が開かれておりました。これまで同様、議会は新型コロナウイルス感染に配慮しつつ審議をいたしました。

定例会では、私は今回、予算等審査特別委員会総括質疑にて、9つの予算計上された施策について質問し、各担当部長等に答弁をいただきました。一部ではありますが裏面に簡単にまとめてございますのでご覧ください。詳細は今後の八王子市議会HP会議録にございますのでそちらのほうでご確認ください。

会議録ページ⇒<https://www.city.hachioji.tokyo.dbsr.jp/index.php/>

蔓延防止期間は全国的に解除されたものの、まだまだ新型コロナウイルス感染には油断はできません。最近では幼児から感染し家庭内感染が見られるのが特徴です。私たちは家庭を守るために社会に参加することを止めるわけにはいきません。今後も正しい知識を得て正しく恐れること、そして正しい対策情報を得ることが重要です。

八王子市のHPにはコロナウイルス感染症について特集されております、一つの対策になればと思ってお知らせし

皆様のご意見・ご要望、心よりお待ちしております。



八王子市議会議員

伊藤忠之事務所

〒192-0374

八王子市中山446

Tel:

(042) 674 - 8869

Fax:

(042) 674 - 7558

E-mail:

tadayuki802@gmail.com

HP:

<https://tadayuki802.com/index.html>

プロフィール 伊藤忠之(50歳)

- ・昭和46年八王子市中山生まれ。
- ・地元中山小・中学校を卒業、私立小松原高等学校卒。
- ・東京コカ・コーラボトリングにてサラリーマン生活を送った後、東花堂(葬儀社)にて経営を学ぶ。
- ・現在、中山在住、母、妻、長女夫婦、次女、孫の7人家族。猫1匹(みーちゃん)、メダカ3匹、金魚2匹(みーちゃん、にしき)
- ・市議会では：
八王子市議会4期
会派 市民クラブ
常任委員会 総務委員会委員
市長付属機関 まちづくり公社諮問委員
組合議会 多摩ニュータウン環境組合議員
その他 奨学審議会委員
- ・趣味 筋トレ(腹筋・足トレは苦手)
- ・好きな言葉 「今すぐ行動しなければ、10年経っても何もできない」

令和4年第1回定例会 予算等審査特別委員会総括質疑より

◎地域循環バス

〈はちバス〉これまでの本市の考え方

八王子市公共交通計画における交通空白地域の評価に基づき、人口密度や高齢化率など、優先度評価の高い地域をつなぐ形で、商業施設や病院、公共施設を経由し最寄り鉄道駅結ぶルートが基本的考え方。

※はちバスのルートを決めているのは地域公共交通活性化協議会。

【問】伊藤忠之 交通が不便な地域でもはちバスを求める声がある中で、はちバスを現在の4路線や交通空白地域に限定することなく、交通不便地域にも拡大してはかがか。

【答】●都市計画部長 交通空白地域の優先度評価の高い地域の解消に向けたルート再編に取り組んでいきたい。しかしながら、ルート再編において、交通空白地域をつなぐ路線の沿線で交通不便地域が存在し、ルート延長への影響が少なく、また民間路線バスへの影響が少ない場合には、交通不便地域への対応も加味して、ルート選定を行って行きたいと考えている。

【問】伊藤忠之 現在のはちバスのルートについて、直接駅や病院に行くようなルート設定は見直すべきであると考えている。バス事業者についても、普通の路線も存続させることが厳しい状況であることから、はちバスは、多少不便であっても路線バスで乗り継ぎ、駅や病院など目的地に行けるようにし、市民にとって身近な移動手段として持続していくべきである。今後、地域公共交通活性化協議会でこの内容について議論をするべきと考えるがいかがか。

【答】●駒沢副市長 人口減少社会が進展する中で、路線バスとはちバスの役割を再認識し、双方が連携した移動交通手段として、市民の足を確保することが重要である。そのためには導入背景を鑑み、採算性などの事業成立を検討する必要性が生じている。提案のあった内容について、今後地域公共交通活性化協議会の専門分科会の中でしっかりと議論する。

【問】伊藤忠之 答弁をいただいたが気になる言葉がありましたので一言述べさせていただきます。「導入の背景を鑑み・・・」といただいているが、確かに生まれは大事で重要なものである。生まれは平成15年3月、高齢者や障がい者、交通弱者の外出支援を目的としてスタート。その後、市民ニーズを捉え、4コースでき、今でもそれを大事にしていることは理解は致す。しかし、人の歴史と違い、はちバスは物であることから、生まれを大事にすることは良いとしても、これからもそれを続けていくことは理解しがたい。物は常に人の使い勝手がよいものでなければ消えゆく存在である。採算性を厳しく見直し検討していただきたい。人に例えれば、はちバスも社会のニーズに寄り添って生まれ変わるべきである。

◎自衛隊募集

〈自衛隊募集〉これまでの本市の対応

自衛隊募集は一部地方公共団体に委託され、本市では主に市広報やホームページをはじめ、市の施設やはちバス車内などにおける広報活動、市長による新人隊員の激励会など開催している。

※年間予算額 特定税源から¥2,000円

【問】伊藤忠之 自衛隊とは非常に心強い存在であり、東日本大震災や毎年のように発生する自然災害などの救助活動、近年では、武漢からのチャーター機への看護派遣、ダイヤモンド・プリンセス号における活動では、前例のない感染リスクの高い中での活動、また、コロナワクチン大規模接種など、振り返ると頭が下がる思いである。入隊志願者は伸び悩んでいるようで本市として今以上に自衛隊員確保のため重点地区の指定を受けて、今以上に自衛隊員確保のための支援、協力ができないか伺う。

【答】市民部長 本市では、これまでも自衛隊東京地方協力本部と連携しながら、自衛隊員募集の広報活動に取り組んできた。今後は、募集事務における重点地区の指定を受けることも含め、パネル展を開催するなど、今まで以上に多くの方々に自衛隊の活動内容を知ってもらい、自衛官確保につながる新たな広報活動の場や広報媒体などについても検討する。

◎他に、小中学生の運動能力、道路・水路の維持補修、消防団運営について質問しました。

毎週月曜日更新。一般質問等のテーマ等、常に増やしています。ぜひご覧になってください。

伊藤忠之オフィシャルHP

tadayuki802

で

検索

